



ひぐち 英明

日本共産党
京都市会議員

2月予算
市会報告

URL <http://higuchi-hideaki.jp/> ✉ h-hide@myad.jp  

賃上げと福祉充実を提案

「企業業績や消費に弱さ」と市長も認めるほど厳しい京都経済と市民の暮らし

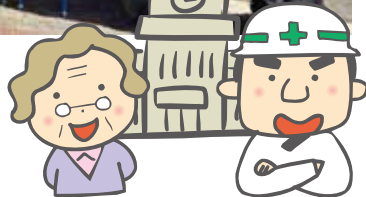
公共事業の 現場労働者の賃上げを

京都市が直接行える賃上げの施策の一つが、公共事業の現場労働者の賃上げです。条例(公契約条例)で賃金の下限を設定するというもので、川崎市や相模原市など他都市ではすでにつくられています。

私はこの間、議会で繰り返し提案していますが、予算市会でも、条例を制定し賃上げを実現するよう厳しく追及しました。



賃上げの要請をする
京建労のみなさん



修学院保育所の廃止方針の撤回を



存続の運動が続く修学院保育所

京都市は市営保育所の廃止を進めており、修学院保育所も廃止しようとしています。待機児童が大問題になっている時に、さらに、障害児の受け入れで特に重要な役割を果たしてきた市営保育所を廃止しようというのですから、絶対に許せません。

予算市会中に、修学院保育所の存続を求める署名が5,000筆以上、市長に提出され、議会にも陳情が提出されました。廃止方針の撤回を求めて、引き続きがんばります。

敬老乗車証の改悪に 今年も待ったをかける

今年も敬老乗車証改悪の具体化を予算には盛り込ませませんでした。これは、「改悪は許せない」と、粘り強く続けられている運動(改悪反対の署名は約3万筆!)と、それと連動した議会論戦の成果です。しかし京都市は、改悪方針そのものは撤回してはいません。引き続き、みなさんと一緒に、改悪方針の撤回に向けた運動を強めていきます。



「敬老乗車証を守ろう」連絡会のデモ行進

原発事故対策の具体化を

安全神話を持ちこむような答弁

予算市会では、原発事故対策の具体化を追及したところ、副市長が「震災や河川の氾濫は京都市で起こりうること」だが、「放射能の場合は地元で原発があることとは違う」と京都市が被害をうける「地元」ではないかのような答弁を行いました。福島原発からの距離が30キロから50キロ弱に

位置する飯館村は6年間も全域が避難区域です。福井原発群と左京区は全く同じ距離関係になるにもかかわらず、原発事故が「地元」の問題ではないとの答弁を行うことは、新たな安全神話を持ちこむようなものです。

原発事故対策の具体化が必要です。



兵庫県篠山市(福井原発群から45~70kmに位置する)を視察。市民全員分の安定ヨウ素剤を備蓄し、原発事故対策の市民説明会をきめ細かく行っている。

どんなお困りごとでもお寄せください

日本共産党京都市会議員団 電話: 075-222-3728